

秘

財政部

内務

第一

第二

第三

内務卿之意是法陳モ有

て其大蔵卿建議ハ先此

終見合セ置ク

主官参議

大蔵卿建議贋造紙幣取締規則ノ件

御下問ニ付意見左ニ開陳ス

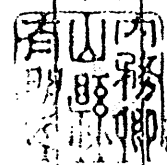
此ニ建議ノ要^{上ラ}スルニ内ニハ紙幣ノ製造ヲ緻密精巧ニシ容易ニ描改シ得可^{上ラ}ウサ^{上ラ}シノ外ニハ偽造犯罪者^{上ラ}マ^{上ラ}ハ忽チ發覺緝捕スヘキ方法即チ製紙彫刺等諸職工ノ取締ヲ為シ而メ内ナルモノハ業已ニ之ヲ擧ク其外ナルモノハ取締規則ヲ別紙法案ノ通施行セントスルニ在リ抑モ紙幣贋造犯取締ノ事ハ直ニ外部ノミニ就キ之ヲ檢束スルモ適マ其犯跡ヲシテ益巧ミニ隱秘セシムルノ具ト為リ易ク未タ實益ヲ見サレニ弊害先^{上ラ}ソ生^{上ラ}ハ故ニ既注ニ後^{上ラ}將來ニ鑑ミ果シ

テ有効ノ方法ナリト確認シ得ヘキモノニ非ラ
サレハ容易施行スヘカヲサルト存候然ルニ
右罪犯ヲ探偵スル事ハ曾テ及内申置候通特ニ
府縣へ内達シ又一昨年以來府縣官ヲ召集シタ
ル毎ニ之ヲ問題ノ一要件トシ其方法ヲ講究セ
シメ益其力ヲ盡シ精密探偵セシメタルニ輓近
其蹤跡ヲ得テ捕獲セシモノ此ニ尠ナカラスト
ス而メ其捕獲犯人ノ負數ト其業体ヲ類別スル
ニ別表ノ如ク本案建議中ノ職工ニ出ルモノハ
甚タ少數ニシテ他ノ農業又ハ雜業者ヲ以テ居
多ナリトス是ニ由ラ之ヲ觀ルモ此取締規則ヲ
施行スルモ果シテ其効驗ヲ顯ハスヤ否ハ豫定
シ難キモノナリトス尤本議取締ノ事ハ已ニ夙

トニ本省ニ於テモ詮議及ヒタルトモ有之候得
共到底前述ノ如ク徒ニ許多ノ營業者ニ煩累ヲ
被ラシムルノミナラス罪犯ハ却テ其蹤跡ヲ隠
秘スルノ用意ヲ濃クスルノ一端トモ可相成ト
存候ニ付談職工ノ如キモ表面顯畫ヲ設ケスシ
テ一般ニ各地方適宜ノ查察ヲ施シ居候像ニ付
先ッ從前ノ儘被差置候方可然ト存候条御下問
書并ニ別表相添此段上答候也

明治十七年七月八日

内務卿山縣有朋



太政大臣三條實美殿

自明治十四年紙幣製造及未遂犯人職業比例
至全

就縛犯總數百拾人犯首從合算ス共

内							譯
版刻職	四人	印刷職	一人	元印刷局職工	一人	表具師	一人
						代 言 師	六人
						士 族 無 職	九人
						雜 業	四十八人
						鍛 冶	一人
						小 賣 商	一人
						染 物 職	二人
						太 物 商	一人
						大工及下駄木挽職	七人
						農	二十四人
						僧	一人
						工	一人
						寫 真 師	二人
						一 人	一人

別紙大藏卿建議廣造紙幣取締規
則ノ件及下問候條意見可被申出
候也

明治十六年十月十三日

太政大臣三條實美

内務卿山田顯義殿

五十七号

贋造紙幣取締規則ノ義ニ付建議

紙幣ノ製造ハ頗ル工夫ヲ凝シ紙質彫刻画紋肉色ニ至ル迄緻密精巧ヲ盡シ且ツ萬般ノ器械ト多數ノ工手ヲ費シ以テ製造スルモノナレハ決シテ他人ノ描造シ得ヘカラスモ拘ラス頻年之ヲ描改或ハ偽造スルモノ往々有之蓋シ其偽造タルヤ概ネ粗惡拙劣ニシテ之カ眞實ヲ鑑別スルハ容易ノトト雖モ其聲聞苟モ世聽ニ觸ルハ輒チ人心疑懼ヲ懷キ其影響忽チ全般ノ紙幣ニ及シ遂ニ流通ノ前途ヲ障害スルニ至リ其害鮮少ニアラス故ニ之カ豫防ノ方法ヲ布設スルハ實ニ財政ノ緊急要務トス而シテ之ヲ豫防スル内外取締ノ法ヲ設ケサルハカラス今マ内ニ於テハ其製造ニ注意ス

甲三〇四

ル既ニ斯ノ如シ故ニ贋造アル毎ニ忽チ之ヲ鑑別
發見スルヲ得ルト雖モ其兇行偽造ノ徒ヲシテ
容易ニ之ヲ搜索捕獲スル能ハサルモノハ外ニ對
スル取締ノ方法或ハ未タ備ハラサルニ因ル歟抑
々紙幣ノ偽造タル蓋シ一人ノ手ヲ以テ之ヲ製造
シ能フヘキニアラス必スヤ製紙練肉彫刻寫真ノ
如キヲ要スルモノナレハ其技ヲ能スルモノニ就
キ其資材ヲ取ラサルヲ得ス故ニ此等營業者ヲ檢
束スルキハ自カラ行兇者ニ影響スルハ理勢ノ當
ニ然ルヘキヲ以テ先ツ此等ノ技術ニ關スル職業
上取締規則ヲ設ケテ之ヲ檢束シ且ツ各地廳警察
官ヲシテ之ヲ耳目トナシ居常其舉動行為ニ注目
シ苟モ疑訝アル者ハ別シテ注意探偵スルキハ仮

令惡意ヲ包藏スル者ハ公許ヲ得タル職業者ニア
ラスシテ他職ヲ表飾スル者ニ在ルノ嫌ナキニア
ラスト雖モ然レモ若シ該取締外ニアルモノ即チ
無鑑札ニシテ營業又ハ故ナク廢業スルモノ及ヒ
營業者ニアラスシテ該職業器具ヲ賣買若クハ之
ヲ取扱フ者ノ如キハ忽地警察官ノ耳目ニ感觸ヲ
來タシ探偵ノ端緒ヲ得ルノ便宜ヲ生ス可ク試ニ
明治十四年ヨリ十五年間ニ於テ發見シタル贋造
及ヒ描改紙幣ノ概數ヲ舉ルニ贋造ニ係ルモノ凡
三千九百七枚ニシテ描改五百八枚トス而シテ十
四年ニ於テ發見シタルモノト十五年ニ係ルモノ
トノ數ヲ比較シハ其十五年ニ係ルモノ贋造八百
八拾七枚描改貳百五拾八枚ノ多キヲ見ル又其就

縛犯罪者ヲ比較セハ十四年ニ於テハ僅ニ六人ニ
シテ十五年ニ在リテハ四十八人ニ至レリ如此實
札発見ノ高及ヒ犯罪就縛ノ數別アルモノ蓋シ犯
者十四年ニ寡フシテ十五年ニ多キニアラス全ク
注意探偵ノ周疎ニ因ルノミ然リ而シテ實際取締
ノ効力舉ルト否トハ規則ノ疎密ニ因ラスシテ警
察官ノ注意探偵奈何ニ在ルモノ多ナリトス故ニ
特ニ該營業者ニ向テ苛細ナル取締法ヲ設クルモ
其檢束ノ煩累ニ堪ス陰然其職ヲ營ミ却テ先行
者ノ便ヲ与フルモ知ルヘカラス寧口簡易ニシテ
之ヲ奉シ易カラシムルノ得策タルニ若カサル可
キヲ以テ本按ハ專ラ綱領ヲ提舉スルニ止ルノミ
而シテ此取締ニ附帶スル手續等ハ主務ノ省局及

ニ當者並各地方廳警察官ト連絡ヲ通シ別ニ其宜
ヲ制セントス然ルモハ公許ヲ得タル多數營業者
ニ煩累ヲ被ムラシムルノ弊ナクシテ犯者搜索ノ
便ヲ得可申ト存候依テ別紙之通取締規則ヲ草シ
致上呈候條此際右取締之方法何今ノ御廟議相成
度此段建議候也

明治十六年八月廿日

大藏卿松方正義



太政大臣三條實美殿

追申本按中免許鑑札手数料ヲ徵收スルノ旨趣
ハ頻年地方警察事務多端ニシテ隨テ費途相高
ニ困難ノ際新ニ一事ヲ起シ其取締ヲ負擔セシ

ムル氏ハ必ス之ニ附帶スル經費ヲ官給セサル
可カラス然レモ國費モ亦多端ノ今日ニ候ハ
本文徵收スル手数料ヲ以テ當局者ニ附托シ鑒
札調製其他ノ雜費ニ充テ候見込ニ有之以段
別申候也

第一條

左ノ職業ヲ管ハ者ハ

東京府ハ警視廳工
各地方ハ管轄廳工

願出免許鑑札ヲ受ツハシ但免許ヲ得タルキハ

鑑札手数料トシテ一枚毎ニ金拾錢ヲ納ムハシ

一銅版彫刻職

版面ヲ描キ又ハ彫刻スル者

二石版職

三版木職

四印版職

五篆刺職

六活版鑄造職

七寫真職

八電氣職

九印肉製煉職

十銅版印刷職

カレハニ街ヲ以テ版面式ハ
器械ヲ製作スル者
印肉及印刷肉ヲ製煉スル者

十石版印刷職

十二上繪職

十三活版印刷職

十四紙漉職

第二條 第一條願書ニハ其職業場所屬籍住所及

年齢ヲ詳記スヘシ

但職業ニ於テ使用スル弟子雇人ノ氏名屬籍

及年齢調書ヲ添付スヘシ

職業願書及其他ノ願届書ハ二通ツ、差出スヘシ

第三條 出稼ヲナス者ハ出稼免許鑑札ヲ携持ス

ヘシ

弟子雇人ヲ出稼セシムルハ社主店主ニ於テ

前項ノ免許鑑札ヲ各自ニ携持セシムヘシ

但木文ノ鑑札ハ入用ノ枚數ヲ豫テ地方廳ヲ

リ受ケ置クヘシ

第四條 第一條列記ノ職ニ業以上ヲ兼スル者ハ

其各業ニ就キ鑑札ヲ乞フヘシ

第五條 支社支店等別所ニ營業所ヲ設クルハ

代理人ヲ定メ更ニ其地ノ地方廳ニ届出免許

鑑札ヲ乞フヘシ

第六條 免許鑑札ヲ受ケタル者ハ其職名ヲ記シ

タル看板ヲ戶外ニ掲クヘシ

第七條 職業者ノ屬籍氏名住所及營業所ノ所在

ヲ變更シタルハ其時々地方廳ニ届出鑑札

ノ裏書ヲ乞フヘシ

第八條

職業者管轄外ニ寄留又ハ轉籍シタルハ

一週日以内ニ旧鑑札ヲ其移轉先ハ地方廳ニ

差出シ換鑑札ヲ乞フヘシ

第九條

鑑札ヲ紛失又ハ毀損シタルハ地方廳

ニ届出鑑札ヲ受クヘシ

但毀損ニ係ルモノハ返納スヘシ

第十條

廢業又ハ轉業死亡等ノ節ハ地方廳ニ届

出鑑札ヲ返納スヘシ

第十一條

弟子雇人等ヲ雇入ルハ第二條ニ

準シ地方廳ニ届出ツヘシ

但傭止又ハ死亡ノハキモ届出シ尤傭止届書

ニハ其傭使中ノ年月数ヲ記入スヘシ

第十二條

鑑札ヲ貸借スルヲ禁ス

第十三條

弟子雇人等ハ規則ヲ犯シタルハ其

社主店主ニ於テ其責ニ任スヘシ

但支社支店ニ在テハ代理人其責ニ任スヘシ

第十四條

此規則ヲ犯シタル者ハ金壹圓以上金

三拾圓以下ノ科料又ハ罰金ニ處ス

第十五條

此規則ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ不論

罪及ヒ減輕再犯加重數罪俱發ノ例ヲ用ヒス

但刑法第七十五條第一項ノ場合ハ此限ニア

ラス

第十六條

鑑札ノ雛形及地方廳取扱諸手續ハ

ヨリ達スヘシ

吳長綾分田後山
田務書記官梅垣直枝
壬午九月

卷之六

凡 本表ハ紙幣贋造犯ノ外描改及未遂犯
并貨幣贋造犯ヲ獲タルモ
例

描

三十五

未 遂	偽 造	金 銀 貨	改									
			部									
全	十	一	大	五	五	十	十	十	全	全	全	全
錢	錢	圓	判	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
全年十二月	全年九月	全年九月	全年九月	全年九月	全年九月	全年九月	全年九月	全年九月	全年九月	全年九月	全年九月	全年九月
茨城縣	山口縣	山口縣	山口縣	山口縣	山口縣	山口縣	山口縣	山口縣	山口縣	山口縣	山口縣	山口縣
茨城縣東茨城郡常盤村平民	山口縣周防國吉敷郡御堀村平民	山口縣周防國吉敷郡御堀村平民	山口縣周防國吉敷郡御堀村平民	山口縣周防國吉敷郡御堀村平民	山口縣周防國吉敷郡御堀村平民	山口縣周防國吉敷郡御堀村平民	山口縣周防國吉敷郡御堀村平民	山口縣周防國吉敷郡御堀村平民	山口縣周防國吉敷郡御堀村平民	山口縣周防國吉敷郡御堀村平民	山口縣周防國吉敷郡御堀村平民	山口縣周防國吉敷郡御堀村平民
坂入房吉	福田宗太郎	福田宗太郎	福田宗太郎	福田宗太郎	福田宗太郎	福田宗太郎	福田宗太郎	福田宗太郎	福田宗太郎	福田宗太郎	福田宗太郎	福田宗太郎

大甲三。四號

明治十六年十月十二日

大臣

内閣書記官

内閣書記官



大藏卿建議實造紙幣取締規則
内務卿御下問案之事

改

別紙大藏卿建議贗造紙幣取締規則
按ハ内務卿へ御下問、上御詮議相成可然
依_リ左案ヲ付_ニ此段上申候也

内務卿御下問案

別紙大藏卿建議贗造紙幣取締規則件及下候條意見可被申出候也

明治十六年十月十三日

太政大臣

明治十六年十月十二日

参事院議長山縣



太政大臣三條實美殿